



2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年7月29日
上場取引所 東

上場会社名 EIZO株式会社
コード番号 6737 URL <https://www.eizo.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 実盛 祥隆
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 執行役員 経理部長 兼 IR室長 (氏名) 恵比寿 正樹 TEL 076-275-4121
四半期報告書提出予定日 2022年8月5日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	17,847	△22.9	877	△78.3	1,258	△72.5	1,383	△56.3
2022年3月期第1四半期	23,151	64.2	4,039	—	4,579	681.9	3,166	711.1

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 975百万円 (△59.2%) 2022年3月期第1四半期 2,390百万円 (△39.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	65.11	—
2022年3月期第1四半期	148.54	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第1四半期	154,232	117,359	76.1	5,569.97
2022年3月期	155,459	118,582	76.3	5,562.01

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 117,359百万円 2022年3月期 118,582百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	60.00	—	60.00	120.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期（予想）	—	60.00	—	65.00	125.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	86,000	△0.9	8,000	△29.2	9,000	△25.7	6,300	△19.2	295.50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社 （社名）、除外 ー社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期1Q	21,981,160株	2022年3月期	22,731,160株
② 期末自己株式数	2023年3月期1Q	911,038株	2022年3月期	1,411,088株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期1Q	21,252,184株	2022年3月期1Q	21,320,197株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法）

四半期決算補足説明資料はTDnetで本日（2022年7月29日）開示するとともに、当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報)	8
3. 補足情報	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、ウクライナ情勢が長期化するほか、中国のロックダウンによるサプライチェーンの混乱、原材料価格及びエネルギー価格の上昇などが生じ、先行きにおいても不透明な状況となっております。

当社グループは、映像技術を核とした顧客のニーズに応じた最適な映像環境ソリューションを提供する「Visual Technology Company」として、世界トップレベルの高品質かつ信頼性の高い映像製品の提供、システムソリューションの提案を行っております。

2022年度は、2023年度を最終年度とする第7次中期経営計画の達成に向けた重要なステップの年となります。強固な財務基盤を活かし研究開発・設備・人的資本への投資を引き続き積極的に実行し、事業成長を実現してまいります。また、「撮影、記録、配信、表示」から成るImaging Chainをシステム事業として展開するEVS (EIZO Visual Systems) を本格的に立ち上げ、事業領域を更に拡大し新たな価値を提供してまいります。

当第1四半期連結累計期間における業績につきましては、売上高は17,847百万円（前年同期比22.9%減）と前年同期を下回りました。アミューズメント市場向けにおいて前期の新規機への集中的な入替需要の反動減により売上高は前年同期を下回りました。一方、B&P (Business & Plus) ・ヘルスケア・V&S (Vertical & Specific) は前年同期を上回る売上高となりました。前第3四半期における一部材料の調達難による生産調整の実施や期末の需要増への対応により、当第1四半期においては国内外の強い需要に対して製品供給が満たせていない状況となっておりますが、当社の100%自社開発・生産を活かした機動的な挽回生産の実施によって、徐々に製品供給を回復させ販売増に繋がりました。加えて円安も売上高増加に寄与しました。

利益面については、材料費の上昇に対し販売価格への転嫁を進めてきたものの、アミューズメント市場向けの売上高の減少及びドル高によるコスト増の影響を受け、売上総利益は5,706百万円（前年同期比35.8%減）、売上総利益率は32.0%（同6.4ポイント低下）となりました。販売費及び一般管理費は4,828百万円（同0.4%減）と前年同期並みとなりました。その結果、営業利益は877百万円（同78.3%減）、経常利益は1,258百万円（同72.5%減）となりました。特別利益として投資有価証券売却益835百万円を計上し、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,383百万円（同56.3%減）となりました。

市場別の売上は次のとおりです。

[B&P (Business & Plus)]

売上高は、4,377百万円（前年同期比11.4%増）となりました。海外においては、需要は依然として強く、一部モデルで十分に供給できない状況であったものの、徐々に挽回生産の効果を得て販売は伸張しました。国内においても法人需要が強く、販売が堅調に推移しました。

[ヘルスケア]

売上高は、7,573百万円（前年同期比18.1%増）となりました。診断用途向けでは、欧州での販売が堅調に推移し、国内においても前期からの設備投資需要が継続しました。内視鏡用途向けでは、中国ではCOVID-19によるロックダウンの影響を受けたものの、欧米や日本では好調に推移しました。

[クリエイティブワーク]

売上高は、1,218百万円（前年同期比18.9%減）となりました。当市場においても前期に引き続き堅調な需要はあるものの、予定していた新製品の本格的な発売が第2四半期にスライドし十分な供給ができなかったことで、国内外ともに前年同期を下回りました。

[V&S (Vertical & Specific)]

売上高は、2,258百万円（前年同期比14.0%増）となりました。海外においては、EVSとして展開する監視用途のIPソリューションの導入が北米を中心に好調に進み、前年同期を上回る売上高となりました。国内においては、前第1四半期の顧客要求に対応したカスタマイズ製品の販売が一巡し、航空管制向け及び船舶向けの販売が伸張し、前年同期並みの売上高となりました。

[アミューズメント]

売上高は、1,159百万円（前年同期比86.0%減）となりました。前期は規則改正に伴う旧規則機から新規則機への入替需要がありましたが、当期は入替が完了したことによる反動減もあり、前年同期を大きく下回りました。当業界を取り巻く市場環境は、規則改正後の遊技人口の減少と店舗数の減少等により業界全体の規模縮小が進んでおり、厳しい状況が継続しております。

[その他]

売上高は、1,260百万円（前年同期比18.2%増）となりました。アミューズメント用ソフトウェア受託開発の売上高が増加したことによるものです。

(単位：百万円)

市場	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)		増減	
	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)	金額	増減率 (%)
B&P (Business & Plus)	3,928	17.0	4,377	24.5	448	11.4
ヘルスケア	6,412	27.7	7,573	42.4	1,161	18.1
クリエイティブワーク	1,502	6.5	1,218	6.8	△284	△18.9
V&S (Vertical & Specific)	1,981	8.6	2,258	12.7	277	14.0
アミューズメント	8,260	35.7	1,159	6.5	△7,100	△86.0
その他	1,066	4.5	1,260	7.1	193	18.2
合計	23,151	100.0	17,847	100.0	△5,303	△22.9

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況は、前連結会計年度末と比較し、資産の部は売掛金の回収が進んだことにより1,227百万円減少し154,232百万円、負債の部は4百万円減少し36,872百万円、純資産の部は自己株式の取得等により1,222百万円減少し117,359百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年5月11日の「2022年3月期 決算短信」で公表しました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,887	14,414
受取手形、売掛金及び契約資産	23,035	17,386
電子記録債権	1,778	1,594
有価証券	8,799	8,299
商品及び製品	10,038	12,144
仕掛品	1,730	2,097
原材料及び貯蔵品	19,980	23,638
その他	1,362	2,113
貸倒引当金	△102	△99
流動資産合計	80,510	81,589
固定資産		
有形固定資産	20,173	20,453
無形固定資産	841	835
投資その他の資産		
投資有価証券	52,824	50,298
その他	1,108	1,054
投資その他の資産合計	53,933	51,353
固定資産合計	74,948	72,642
資産合計	155,459	154,232
負債の部		
流動負債		
買掛金	7,522	9,186
短期借入金	2,050	2,140
未払法人税等	2,398	127
賞与引当金	1,696	731
製品保証引当金	2,177	2,196
その他	4,880	6,791
流動負債合計	20,726	21,174
固定負債		
長期借入金	1,025	1,034
役員退職慰労引当金	71	71
リサイクル費用引当金	634	622
退職給付に係る負債	3,014	2,986
その他	11,404	10,982
固定負債合計	16,150	15,697
負債合計	36,876	36,872

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,425	4,425
資本剰余金	4,313	4,313
利益剰余金	82,039	80,661
自己株式	△2,664	△2,100
株主資本合計	88,114	87,300
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	28,801	27,175
為替換算調整勘定	1,440	2,700
退職給付に係る調整累計額	226	183
その他の包括利益累計額合計	30,467	30,059
純資産合計	118,582	117,359
負債純資産合計	155,459	154,232

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月 1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月 1日 至 2022年6月30日)
売上高	23,151	17,847
売上原価	14,261	12,141
売上総利益	8,890	5,706
販売費及び一般管理費	4,850	4,828
営業利益	4,039	877
営業外収益		
受取利息	1	3
受取配当金	474	522
為替差益	41	—
その他	31	26
営業外収益合計	548	552
営業外費用		
支払利息	5	6
為替差損	—	164
その他	2	0
営業外費用合計	7	171
経常利益	4,579	1,258
特別利益		
投資有価証券売却益	—	835
特別利益合計	—	835
特別損失		
投資有価証券売却損	—	5
特別損失合計	—	5
税金等調整前四半期純利益	4,579	2,088
法人税、住民税及び事業税	1,276	299
法人税等調整額	136	405
法人税等合計	1,412	704
四半期純利益	3,166	1,383
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,166	1,383

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益	3,166	1,383
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△941	△1,625
為替換算調整勘定	174	1,260
退職給付に係る調整額	△9	△43
その他の包括利益合計	△776	△408
四半期包括利益	2,390	975
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,390	975
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) の拡大に伴う会計上の見積りについて)

COVID-19に関連する当社グループの将来の業績に係る仮定につきましては、当第1四半期連結累計期間において重要な変更はありません。

なお、固定資産の減損及び繰延税金資産の回収可能性等の会計上の見積りにつきましては、当第1四半期連結会計期間末時点で入手可能な情報に基づき実施しております。COVID-19の影響は2023年3月期の一定期間にわたるものと仮定し、会計上の見積りを行っております。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

当社グループは、映像機器及びその関連製品の開発・生産・販売が主であり、実質的に単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を行っておりません。

II 当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

当社グループは、映像機器及びその関連製品の開発・生産・販売が主であり、実質的に単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を行っておりません。

3. 補足情報

(市場区分について)

区分	使用用途・場所
B&P (Business & Plus)	金融機関、公共機関、文教施設、CAD、商業施設、一般オフィス、ホームオフィス
ヘルスケア	診断・検査、治療・手術、医療IT
クリエイティブワーク	映像制作、3DCG、プロフォト、ハイアマチュアフォト、イラスト、デザイン、出版・印刷
V&S (Vertical & Specific)	社会インフラや産業機器で求められる多種多様な用途 航空管制、船舶、監視、MIL規格対応、その他産業用途 (タッチモニター含む)
アミューズメント	パチンコ・パチスロ遊技機に搭載される液晶モニター
その他	保守サービス及びソフトウェアの受託開発